

【民法】

出題の意図

〔第1問〕

離婚制度についての基本的知識を問う問題である。

〔第2問〕

法人の代表者の代表権の制限についての基本的知識を問う問題である。

【商法】

出題の意図

〔第1問〕は、事業譲渡として株主総会の特別決議による承認を要する行為の意義について問うものである。

〔第2問〕は、取締役会による法定の決議事項を株主総会の決議事項とする定款規定の有効性について問うものである。

～

経済法

出題の意図

[第1問]

知的財産権が関連する競争制限行為が発生した場合に、それを独占禁止法上、どのように評価するかが論点となる問題。独占禁止法と関連法の相互関係の理解が問われる。

[第2問]

独占禁止法の執行上の重要な論点である課徴金についての基礎的な問題である。独占禁止法の手続的側面についても正しく理解しているか確認している。

## 〔労働法〕

## 出題の意図

いずれも労働法の基本的理解を問う問題である。〔第1問〕は、管理監督者の概念やこれに該当する場合の効果について、裁判例を踏まえつつ解答することを求めるものである。〔第2問〕は労働安全衛生法に基づく長時間労働者に対する面接指導の制度とストレスチェック制度についての理解を問うと共に、両制度の意義及び課題について論ずることを求めるものである。〔第3問〕は労働組合法上の使用者性に係る基本的な事例問題である。

知的財産法

出題の意図

本問は、職務著作や二次的著作物に関する基本的な理解を問うものである。

# 政治学

## 【出題の意図】

- (1) 議院内閣制と大統領制の違いについて、どの程度の知識を持っているかをみるものである。権力の配分、説明責任の仕組み、意思決定プロセス、行政府と立法府の役割などの違いについていかに説明できるか、また、歴史的、文化的、社会的背景による制度設計の違いなどの理解が問われる。
- (2) J. ガルトゥングの唱えた消極的平和と積極的平和に関し、具体例を伴って説明できるかを問う。社会構造や制度がもたらす構造的暴力はもちろん、人間の安全保障等に関わる議論など歴史的事実を含めて立体的に理解していることが求められる。
- (3) 自民党の長期政権の理由については様々な論者が議論してきた。受験者が戦後日本政治についてどの程度勉強し理解しているのかをみる。
- (4) なぜ戦争がおこるのかという問いに対しては特に国際政治学等を勉強していなくとも答えられそうであるが、戦争原因論は戦争に関する研究の中でも特に関心を集めてきた部分であり、学術的な説明をどれくらい知っているかが問われる。

### 出題の意図

ODA に象徴されるように日本は開発途上国や新興国への開発協力を推進してきた。その一方で、日本国内にも無数の課題が山積していることは周知の通りである。こうしたなか、対外的な政策として蓄積されてきた知見を、国内にフィードバックさせることの可能性が昨今、議論されている。グローバルな課題に敏感にアンテナを張っているか、身近な課題との間で相対化できているか、そこから自分なりの論点をみつけ、それを分析する視角を持ち得ているかという洞察力、問題が生起するメカニズムを解明する分析力や提案力を測ることを意図した出題である。

## 国際行政論

### 出題の意図

- 国際行政論における重要な概念であるグローバル・ガバナンスの理解を問うこと。
- 論理操作力、すなわち具体的な事象を抽象的な概念を使いながら分析する能力を測ること。
- 文章表現力、すなわち自分の主張したいことをわかりやすく論理的な文章にして相手に伝える能力を測ること。